

家族3人で親牛70頭を飼養

大隅町坂元で父・母と3人で肉用牛の生産を行っている和泉宏太郎さん。親牛約70頭・子牛約40頭を飼養しています。新たな牛舎を建設中で増頭を計画しています。

■就農した経緯は？

実家が肉用牛の生産農家で高校卒業後すぐに就農してもいいと思っていました。しかし畜産は不安定な業界で手に職をつけたかったため、介護福祉士の資格を取得し鹿児島市の老人介護福祉施設に就職しました。それでも働きながら牛飼いにしたい思いがありました。数年経った頃、父から「牛の頭数を減らしていきたい」と話しを聞き、それなら自分が牛を育てようと就農を決意しました。

■仕事内容は？

父が親牛、母が生後3カ月までの子牛、私が生後3カ月からセリに出す9カ月頃までの牛を担当しています。納得できる良い牛を育てるため、

日々トライ&エラーを繰り返しています。えさのやり方・タイミング・量や牛舎の間取り、部屋の分け方など山ほど変えて試しています。凝り性なので試行錯誤も楽しく感じながら仕事ができています。

■やりがいは？

狙ったところに成長が見られたときにやりがいを感じます。牛の体の幅を大きくしたいと考えて、その通りに大きくなったときは嬉しかったです。牛飼いは観察力と想像力が大事だと思っています。牛の行動をよく観察したり、時には胃の中の消化具合まで想像して育てています。

■今後の目標は？

自分名義の牛は18頭なので、50頭まで増やしていきたいです。これからも自分が納得できる良い牛を育てるために、育て方を研究していきたいです。私にとって牛は人生のベースになっていて、一生懸命のめり込める仕事に出会えてよかったですと思います。

輝く！ヤングワーカー

肉用牛生産農家
就農1年目

い
ず
み
こ
う
た
ら
う

和泉
宏太郎
さん



時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
行動	睡眠			起床	えさやり	糞尿処理	朝食		牛の移動 など	糞尿処理 ・ 牧草を刻んで えさやりの準備		昼食		えさやり	糞尿処理 ・ 農業機械の整備 ・ 牛舎のDIY など		えさやり		夕食・入浴					睡眠	

12月のある日の
スケジュール